



画像：岸田劉生『白樺』第10年3月号表紙、1919年、個人蔵

「白樺」

SHIRAKABA

日本における
西洋美術の導入と広がり

2025
9/2(火) → 11/9(日)

『白樺』は、武者小路実篤や志賀直哉ら学習院同窓を中心に1910(明治43)年から1923(大正12)年まで刊行された雑誌です。彼ら自身の小説や批評を発表する場であると同時に、西洋美術を紹介する新たなメディアとしての役割も担っていました。

明治から大正にかけての日本は西洋から多様な文化や価値観・思想が流入し、印刷技術も飛躍的な発展を遂げた時代であり、多彩な雑誌が次々と生まれました。その中で『白樺』はレンブラント・ファン・レインやジョルジュ・ルオーといった西洋の画家や作品を図版や評論を通して紹介するだけでなく、彼らの芸術表現の背景にある精神性にも焦点を当てた点が大きな特徴と言えるでしょう。

本展では、小説家でありながら美術へも強い関心を抱き自身も絵筆を取っていた実篤と、『白樺』の表紙を多く手掛けた岸田劉生にそれぞれ焦点を当て、近代日本における西洋美術受容の一側面を探ります。また、白樺派が主催した西洋美術の展覧会や同時期に生まれた美術雑誌、文芸雑誌なども併せてご紹介いたします。雑誌というメディアによって共有された理念や価値観の広がりを、作品および関連資料を通じて当時の空気とともに感じていただければ幸いです。

【本展に関するお問い合わせ先】

茅ヶ崎市美術館 担当：雲中 あみ(学芸員) 広報担当：斎藤 久恵

TEL：0467-88-1177 FAX：0467-88-1201 E-mail：bijutsukan@chigasaki-arts.jp

本展のみどころ

1 岸田劉生の装幀世界

当館が所蔵する岸田劉生が手掛けた装幀版画をまとめて展示します。『白樺』をはじめ、武者小路実篤ら白樺派の詩や小説作品、そして自身の画集など、様々な書籍を彩った装幀版画をお楽しみください。

2 武者小路実篤による美術作品

白樺派の中心人物として知られる小説家・武者小路実篤は、美術にも強い関心を寄せ、自身も絵筆をとりました。本展では貴重な実篤の油彩画をスケッチブックとともにご覧いただけます。

3 『白樺』を通じた西洋美術の広がり

近代日本における西洋美術受容の一端を『白樺』が主催した展覧会の資料や、同時代に出版された文芸雑誌・美術雑誌等を通じて探ります。

展覧会概要

展覧会名	『白樺』 日本における西洋美術の導入と広がり
会 期	2025年9月2日(火)–11月9日(日)
時 間	10:00–17:00(入館は16:30まで)
休 館 日	月曜日(ただし9月15日、10月13日、11月3日は開館)、9月16日(火)、10月14日(火)、11月4日(火)
会 場	茅ヶ崎市美術館(〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北1-4-45)
観 覧 料	一般800円(700円) 大学生600円(500円) 市内在住65歳以上400円(300円) 高校生以下無料 ※障がい者およびその介護者は無料 ※()内は20名以上の団体料金
主 催	公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団
協 力	我孫子市白樺文学館、県立神奈川近代文学館、調布市武者小路実篤記念館、平塚市美術館、町田市立国際版画美術館

[交通案内]

市立図書館隣り、高砂緑地内

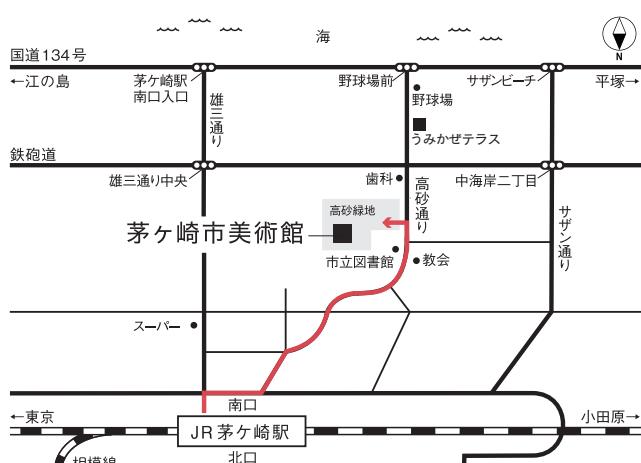
・JR茅ヶ崎駅南口より徒歩8分

・同駅南口よりコミュニティバス「えぼし号」②「図書館前」下車
※駐車場は収容台数が少ないため、公共の交通機関でご来館ください。満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

※Google マップで検索する際は、「茅ヶ崎市美術館駐車場」を目的地にすると最短距離で着きます。

状況によって会期が変更になる場合がございます。
最新情報は美術館ホームページでご確認ください。

 <https://www.chigasaki-museum.jp>
茅ヶ崎市美術館 検索    



【本展に関するお問い合わせ先】

茅ヶ崎市美術館 担当: 雲中 あみ(学芸員) 広報担当: 斎藤久恵

TEL: 0467-88-1177 FAX: 0467-88-1201 E-mail: bijutsukan@chigasaki-arts.jp

関連イベント

【ワークショップ1】手製本講座 雑誌『白樺』から知る本づくり

『白樺』と同じ製本方法である平綴じと、同じく冊子向きの製本である中綴じの技法で二冊を製本します。

講師：植村 愛音（古本と手製本ヨンネ主宰）

日時：9月23日[火・祝] ①11:00 – 13:00 ②14:30 – 16:30

会場：当館2階アトリエ 対象：中学生以上 料金：1,000円 定員：各回16名

申込：事前申込制、先着順

※9月2日[火] 10時より電話または美術館受付にて開館時間内にお申込みください。



完成イメージ

【ワークショップ2】カード織り体験 自分の手で織るしおり

『白樺』の表紙で用いられている模様をイメージした柄をカード織りで表現し、しおりを作ります。

講師：貫洞 彩（salvia カード織り講師）

日時：10月13日[月・祝] ①11:00 – 13:00 ②14:30 – 16:30

会場：当館2階アトリエ 対象：高校生以上 料金：2,000円 定員：各回8名

申込：事前申込制、先着順

※9月2日[火] 10時より電話または美術館受付にて開館時間内にお申込みください。



完成イメージ

※作成するしおりは1個です

【講演会】「『白樺』とその周辺 明治末年の雑誌文化にみる美術の広がり」

講師：松本和也（神奈川大学教授）

日時：11月2日[日] 14:00 – 15:00 会場：当館1階エントランスホール

料金：無料 定員：50名（申込不要/当日先着順）

ギャラリートーク

日時：9月6日[土]、10月26日[日] 各日 14:30 – (30分程度)

会場：美術館展示室 担当：雲中 あみ（本展担当学芸員） 料金：無料（要観覧券/事前申込不要）

【先生向け】文化芸術教育プログラム

先生たちのための10日間

子どもたちとともに過ごす先生たちを、美術館の展覧会にご招待。美術館で開催される展覧会の最初の約10日間、無料で鑑賞していただけます。様々な切り口で開催される茅ヶ崎市美術館の展覧会の魅力を体感していただき、児童・生徒との会話にご活用ください。

秋の期間：9月2日(火) – 9月15日(月・祝)

対象：保育園、幼稚園、小・中・高等学校、大学の教員、学童スタッフの皆様

※ご所属が分かるものを受け付けて提示（例：職員証、名刺等）。期間は休館日を除く。

【本展に関するお問い合わせ先】

茅ヶ崎市美術館 担当：雲中 あみ（学芸員） 広報担当：齋藤久恵

TEL：0467-88-1177 FAX：0467-88-1201 E-mail：bijutsukan@chigasaki-arts.jp

広報用画像

画像の使用をご希望の場合は、E-mail にて広報(斎藤)までお問い合わせください。
E-mail : bijutsukan@chigasaki-arts.jp

【広報用画像貸出の注意事項】

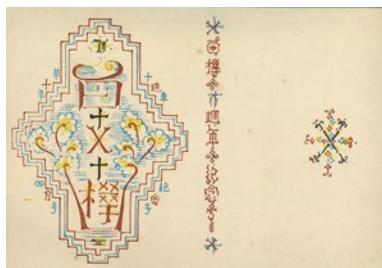
- ・使用目的は、本展のご紹介のみに限ります。
- ・使用後、画像データは速やかに破棄してください。画像データの保存および、第三者への提供は禁止します。
- ・トリミング、部分使用、文字乗せ、色調変更、二次使用は禁止します。
- ・掲載する際は、各画像のキャプションを必ず記載してください(下記参照)。
- ・掲載紙は、広報宛に1部ご送付をお願いします。

1



岸田劉生『白樺』第10年3月号表紙、
1919年、個人蔵

2



岸田劉生『白樺 十週年記念号』第10年4月号表紙、
木版多色・紙、1919年、茅ヶ崎市美術館蔵

3



岸田劉生『白樺』第10年11月号表紙、
木版多色・紙、1919年、茅ヶ崎市美術館蔵

4



武者小路実篤《エジプト従者像のある静物》
油彩・キャンバス、1973年、
調布市武者小路実篤記念館蔵

5



レンブラント・ファン・レイン
《アルミニウス派説教師 ヤン・アイテンボハルト》
エッチング、エンゲレーヴィング、1635年、
町田市立国際版画美術館蔵

6



「ゴッホ『向日葵』の前で山本顕弥太と」
(右が武者小路実篤)1938年、
調布市武者小路実篤記念館蔵

7



岸田劉生《石垣ある道(鶴沼風景)》
油彩・キャンバス、1921年、平塚市美術館蔵